メインテーマ『のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを』

2015年9月発行 No.89

佐賀市老連だより

佐賀市老連 で検索 ホームページ：http://sgrouren.sakura.ne.jp

発行責任者
佐賀市老人クラブ連合会会長　木下　治紀

発行 佐賀市老人クラブ連合会
佐賀市兵庫北三丁目8番36号　佐賀市保健福祉会館
☎32-2561 FAX32-2565　（ほほえみ館）

編集印刷 株式会社 ニチコミ
福岡市博多区博多駅東1-13-6 竹山博多ビル7F
☎092-292-6538 http://www.nichicomi.com

老ク信条　一、広く教養を高め、時代の流れに遅れないよう努めましょう。　二、過去の経験と体験を生かし、地域社会のためにつくしましょう。

佐賀市老連女性部グラウンド・ゴルフ大会 開催

26チーム260人が熱戦！

第3位：新栄校区老連チーム

優勝は大和町老連チーム

準優勝：諸富町老連チーム

中川副校区老連チームより選手宣誓

7月9日（木）、第2回佐賀市老連女性部のグラウンド・ゴルフ大会を開催。昨年度より女性だけのGG大会を開催していますが、各校区の男性役員、体育部長等より会場設営や運営について協力を頂き、スムーズな運営が行われています。成績は7人の選手の内、上位5人の打数により決定しました。

順　位	チーム名	打　数
優　勝	大和町老連	194打
準優勝	諸富町老連	194打
第3位	新栄校区老連	200打
第4位	巨勢校区老連	200打
第5位	金立校区老連	202打
第6位	西川副校区老連	205打
第7位	循誘校区老連	206打

上位3チームが集合

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

(有)都紀　入居予約受付中
（介護保険指定認知症対応型共同生活介護）（グループホーム）
【西与賀紀水苑】〒840-0036 佐賀市西与賀町大字高太郎183番地1 TEL.0952-29-7621
【下古賀紀水苑】〒840-2221 佐賀市東与賀町下古賀69-25 TEL.0952-46-3002
【立野紀水苑】〒840-2221 佐賀市東与賀町大字下古賀60-1 TEL.0952-45-7281

HAYASHI 林酸素株式会社
取締役会長　林　豊喜
〒849-0919 佐賀市兵庫北七丁目3番62号
(代表) ☎0952-24-3235

是非お気軽にご相談下さい
●相続税対策をしたいが何から始めていいか分からない
●遺言を書きたいがどこに相談したらいいのか分からない
●万が一の場合、自分に相談税がかかるのかを知りたい
公門税理士事務所
税理士　公門　章弘
佐賀市兵庫北2丁目16番13号
TEL:0952-31-5107　FAX:0952-31-5117
http://www.kumon-21.com/

さの眼科
診療時間　月 火 水 木 金 土
午前 9:00～12:00　● ● ● ● ● ●
午後 3:00～ 7:00　● ● ／ ／ ● ●
日曜・祝祭日：休診
佐賀市兵庫北2丁目25-8
ほほえみ館東に100メートル
TEL.0952-20-1313

整形外科・リハビリテーション科　骨粗しょう症
境野病院
☎26-2468（片田江）
内科・救急指定　大腸・胃
諸隈病院
☎22-5500（水ヶ江）

株式会社 富士建設
シニア・高齢者住宅専門 リフォーム工事
佐賀市富士町大字上熊川118番地1
☎0952-64-2347
http://www.officefuji.co.jp

佐賀市老人クラブ連合会無料相談受託事務所
弁護士法人 朋楠
わかくす法律事務所
弁護士　辻　泰弘　弁護士　江越　正嘉
弁護士　吉田　一穂　弁護士　隈　慧史
佐賀県弁護士会 所属
〒840-0813 佐賀市唐人2-5-8 佐賀中央通ビル3階
TEL (0952) 22-7424
http:// hounan-wakakusu.com

株式会社ライフコンプリート
総合保健施設 紀水苑
◆通所介護　◆プール　◆バイキング
お問合せはお気軽にどうぞ
佐賀市東与賀町大字飯盛224-1
東与賀 TEL(0952) 34-7750
北　方 TEL(0954) 36-0357
介護付き有料老人ホーム 紀水苑
佐賀市東与賀町田中191-1 TEL(0952)37-6611

危機的! 増員目標596人増に対し435人の減少！ なぜ増やせないのか！原因を考え、今年度は目標達成を

平成26年度会員増強運動の結果　平成26年度会員数　14,409人⇒平成27年度会員数　13,974人
新規加入者／797人・脱会者／1,232人(うち消滅単位クラブ7クラブ272人／960人が死亡や病気で脱退)

校区名	26年度会員数	27年度新入会員	26年度脱会者数	27年度会員数	校区名	26年度会員数	27年度新入会員	26年度脱会者数	27年度会員数
勧興	377	32	29	380	新栄	305	26	13	318
循誘	328	27	42	313	若楠	379	33	23	389
神野	481	50	40	491	旧佐賀市合計	6,670	476	677	6,469
赤松	149	4	11	142	諸富	1,697	39	136	1,600
西与賀	575	22	69	528	大和	1,154	47	110	1,091
本庄	356	31	24	363	富士	918	33	29	922
北川副	416	11	83	344	三瀬	395	13	19	389
巨勢	333	27	42	318	南川副	534	26	68	492
蓮池	215	14	20	209	西川副	598	49	15	632
兵庫	539	54	41	552	中川副	506	16	25	497
久保泉	331	24	43	312	大詫間	382	20	10	392
金立	311	14	34	291	東与賀	751	19	50	720
高木瀬	400	40	34	406	久保田	804	59	93	770
鍋島	546	32	83	495	旧郡部計	7,739	321	555	7,505
嘉瀬	629	35	46	618	**合計**	**14,409**	**797**	**1,232**	**13,974**

上記の表から新入会員数が脱会者数より多い校区は勧興・神野・本庄・兵庫・高木瀬・新栄・若楠・富士・西川副・大詫間の10校区で、努力された形跡が見られる。中でも新栄・西川副の2校区については目標値を達成した。一方、脱会者が多い校区は単位クラブの消滅した校区に見られる。今年度は目標値を達成した2校区の活動事例を聞いて生かしていきたい。

平成27年度の目標値として、3%の会員増加を努力することが必要であるが、せめて増減±0にするためには単位クラブの消滅をなくすことが重要である。**「会員1人が1人の新規会員を入会させよう！」**

女性会員を中心として老人クラブの良いところを伝え、会員を増やそう！
老人クラブは三大運動の「健康」「友愛」「奉仕」を柱として活動をしています。

目標値

全老連では老人クラブ「100万人会員増強運動」を平成26年度より5カ年計画として提唱しています

佐賀県老連　佐賀県老連では「総力を結集して佐賀県6,500人会員増強を達成しよう」のスローガンを掲げ目標達成のため前期として平成26年度より3カ年計画を実施しています。

佐賀市老連　佐賀市老連では、年間3%の会員増加を目指します。※平成26年度の活動結果として上記のとおりになりました。

単位クラブの会員数に応じた目標値
- 30人未満…**1人以上**
- 30人以上60人未満…**2人以上**
- 60人以上90人未満…**3人以上**
- 90人以上…**4人以上**

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
介護予防通所リハビリテーション　居宅介護支援事業所
医療法人
信愛整形外科医院
理事長　森永 秀和
佐賀市川原町4番8号
TEL 0952(22)1001

介護老人保健施設
徐福の里
・有料老人ホーム
・小規模多機能ホーム　びゃくしん
・認知症対応型デイサービス　平成26年4月オープン
諸富町大字大堂1049-4 ☎34-8880
医療法人　森山胃腸科

至誠会病院は「なゆたの森病院」に生まれ変わります！
平成27年12月佐賀市本庄町に移転オープン
なゆたの森　検索
医療法人至誠会　至誠会病院
〒840-0051　佐賀市田代2丁目7-24
TEL:0952-24-5325　FAX:0952-23-3699

医療法人社団 博文会
小柳記念病院
佐賀県佐賀市諸富町大字諸富津230番地2
TEL(0952)47-3255(代) FAX(0952)47-5101
介護老人保健施設 白壽園
佐賀市諸富町大字諸富津220 TEL(0952)47-5115

山口耳鼻咽喉科
〒840-0832
佐賀市堀川町1-8(県警本部西側)
TEL (0952) 24-2004

整形外科・リハビリテーション科・デイケア
医療法人
島内整形外科
理事長　島内　良三
佐賀市大和町尼寺2628-1
電話 0952(62)2300

沖田眼科医院
佐賀市高木瀬東2丁目15番2号
TEL 0952-31-8467

南里泌尿器科医院
理事長　南里　和成
院　長　南里　正晴
副院長　南里　正之
佐賀市松原3丁目2番33号
電話 (0952) 23-5911

【特集】老人クラブ会員アンケート

みんなで考えよう「老人クラブ」の未来を!!

老人クラブ会員アンケート 集計結果

佐賀市老連では、平成26年10月の理事会において、会員へのアンケート実施を校区老連会長へ要請し、12月までに校区単位に実施しました。その結果、5166人の会員から回答があり、回答率は70.91%でした。

今回は、全26項目のアンケート集計結果と、佐賀大学文化教育学部の上野景三教授の分析結果を報告いたします。

回答数5166人（回答率70・91%）

◆質問1　アンケート回収率

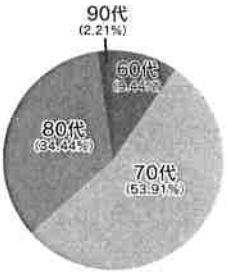
校区老連ごとに100%から21.73%とばらつきはあったが、全体で70.91%の回答があった。

◆質問2　性別

男性
2123人（41.10%）
女性
3043人（58.90%）

◆質問3　年齢別

・60代　488人（9.44%）
・70代　2785人（53.91%）
・80代　1779人（34.44%）
・90代　114人（2.21%）



会員は70、80代が圧倒多数 若手は10%に満たず

【調査結果】

校区老連別にアンケート回収率の差は大きいが、全体で70.91%の回答があり、会員のアンケートへの意識が高い。

全体の会員数では男性よりも女性の比率が高く、また年齢別では70代と80代で8割以上を占めている。逆に60代の若手会員が非常に少なく、高齢化社会の影響もあり、老人クラブも高齢化していることが分かる。

高齢化社会の在り方について

◆質問4　高齢者が果たすべき役割

自分の健康維持	4022人	45.15%
高齢者同士の見守り・支え合い	2478人	27.81%
自分の経験で地域に貢献する	1268人	14.23%
文化や歴史を後世に引き継ぐ	606人	6.80%
仕事を継続する	390人	4.38%
分からない	105人	1.18%
その他	40人	0.45%

◆質問5　身体が不自由になったとき必要と思う支援

・行政サービスによる支援　3192人（38.14%）
・家族による支援　2783人（33.25%）
・地域、近所での支え合い　1613人（19.27%）
・民間事業者の支援　572人（6.84%）
・わからない　176人（2.10%）
・その他　33人（0.40%）

介護支援など行政・家族・地域の支えを希望

【調査結果】

老人クラブでは主な活動として「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動を取り組んでおり、回答率が高かった高齢者が果たすべき役割「健康」「支え合い」「地域貢献」に沿った活動を行っているといえる。また体が不自由になったときは介護保険などの行政のサービスや家族による支援を望んでいる声が多かった。

老人クラブの活動について（次の活動を知っていますか？）

◆質問6　見守り活動

・知っている　4322人
・知らない　701人
・その他　64人

◆質問7　地域奉仕活動

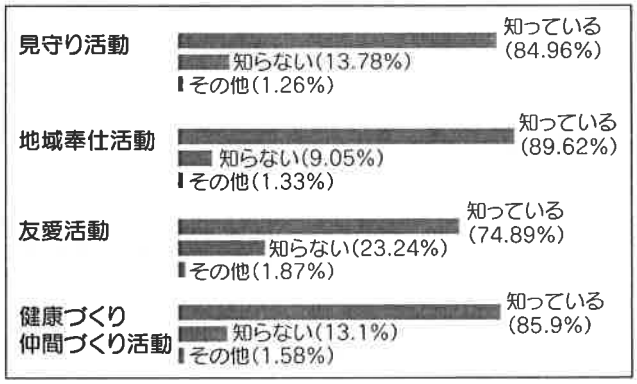
・知っている　4385人
・知らない　443人
・その他　65人

◆質問8　友愛活動

・知っている　3641人
・知らない　1130人
・その他　91人

◆質問9　健康づくり・仲間づくり活動

・知っている　4201人
・知らない　646人
・その他　78人



友愛活動のPRを

【調査結果】

4つ活動の中で一番認知度が高いのは、地域奉仕活動。友愛活動は認知度が高いが、2割の人たちにはまだ知られていない。ヘルパーとして実際に活動しているのが一部の会員であるため、1人でも多くの会員が友愛活動に参加してもらい活動を周知する必要がある。

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

さが駅前治療院
（あんま・マッサージ）
院長　池田英明
営業時間　月～土　午前10:00～午後6:00（日曜のみ午後4:00まで）
※営業時間と定休日が多少異なる場合がございますので、事前にお問合せください。
駐車場有り
JR佐賀駅　さが駅前治療院
佐賀市神野東1丁目7-8（堀江南交差点を東へ10m・高架南側）
☎0952-41-6777

SHOJIMA
<救急告示病院>
正島脳神経外科病院
院長　正島隆夫　副院長　正島和人
佐賀市鍋島1丁目3番10号　TEL0952(32)0035

医療法人
えとう内科・循環器内科
院長　江頭　泰博
佐賀市神野東4-3-19
☎0952-33-8177

内科
糖尿病専門医
ひさとみ内科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	／	○	／

休診日：日・祝祭日（院長　久冨　昭孝）
佐賀市鍋島3-6-13　☎0952-36-8426

精神科・神経科・内科
鮫島病院
院長　鮫島　健
佐賀市富士町小副川272
☎0952-64-2231(代)

社会福祉法人　健寿会
介護老人福祉施設
なごみ荘
総合施設長　鮫島良子
佐賀市富士町大字小副川562
TEL(0952)64-2314(代)
FAX(0952)64-2167

社会福祉法人　健寿会
和水（なごみ）心療クリニック
院長　牧本勝義
老年精神科・老年心療内科
精神科・心療内科
○認知症デイケア実施（医療保険）
佐賀市大和町尼寺3127-1
TEL(0952)20-6030

みぞかみ耳鼻咽喉科
診療時間
平日　9:00～12:30　14:30～18:00
土曜　9:00～12:30　14:00～16:00
木曜・日曜・祝祭日／休診
佐賀市与賀町4-21
TEL(0952)22-4057

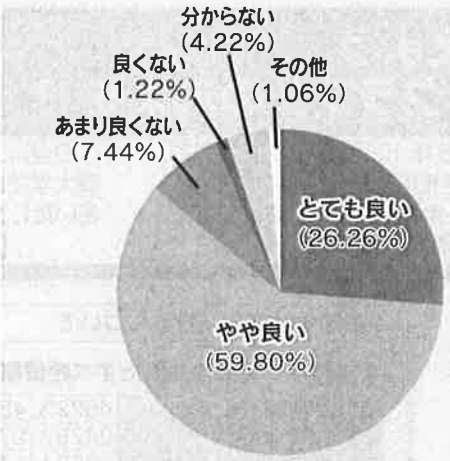
老人クラブのイメージについて

老人クラブに対して良いイメージ、悪いイメージがあります。今回のアンケートを通して双方の具体的な理由を検証し、今後の活動に生かしていきましょう。

8割以上が良いイメージ

◆質問 10　老人クラブのイメージ

・とても良い	1338 人	(26.26%)
・やや良い	3047 人	(59.80%)
・あまり良くない	379 人	(7.44%)
・良くない	62 人	(1.22%)
・分からない	215 人	(4.22%)
・その他	54 人	(1.06%)



老人クラブのイメージ

【調査結果】

8割以上が老人クラブに良いイメージを持っており、老人クラブは、仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり、社会奉仕活動等で地域に貢献しているというイメージを持たれている。しかしその半面、人間関係や「老人」という言葉、閉鎖的なイメージがまだ強いという声も多かった。

◆質問 11　良いイメージの理由

・仲間ができて、交流が増える	3324 人	(48.21%)
・健康づくりに役立つ	1701 人	(24.67%)
・生きがいづくりをしている	986 人	(14.30%)
・地域に貢献している	784 人	(11.37%)
・その他	100 人	(1.45%)

「老人」には抵抗感

◆質問 12　悪いイメージの理由

・人間関係がわずらわしそう	766 人	(18.64%)
・老人という言葉に抵抗がある	1422 人	(34.60%)
・閉鎖的な感じがする	236 人	(5.74%)
・参加したい活動がなさそう	276 人	(6.72%)
・奉仕活動が負担になりそう	726 人	(17.66%)
・行事や作業が多そう	520 人	(12.65%)
・その他	164 人	(3.99%)

老人クラブの役割について

◆質問 13　老人クラブの入会者を知っているか

・知っている	4085 人	(83.98%)
・知らない	642 人	(13.20%)
・その他	137 人	(2.82%)

◆質問 14　老人クラブが果たす役割

・心身の健康維持増進を図る	2847 人	(39.02%)
・地域での仲間づくり	2952 人	(40.46%)
・地域での奉仕活動の担い手	854 人	(11.70%)
・趣味の活動参加機会づくり	447 人	(6.13%)
・分からない	177 人	(2.43%)
・その他	19 人	(0.26%)

健康・仲間づくりに役立つ

【調査結果】

老人クラブの活動に積極的な人は、入会者を知っている方が多いが、老人クラブ加入後、活動に参加していない人は、入会者を知らない方もいる。また老人クラブの役割として、健康づくりや、仲間づくりと回答した人が8割近くあり、認識が強いことが分かる。

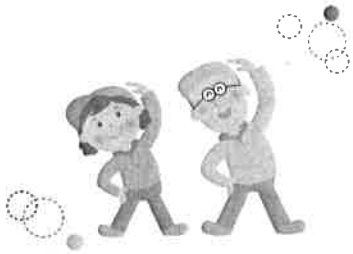
老人クラブの活動について

◆質問 15　老人クラブで参加したい活動

楽しく行える趣味の活動	1927人	27.84%
健康維持増進のスポーツ	1953人	28.22%
地域で助け合う友愛活動	1127人	16.28%
公園等美化などの活動	661人	9.55%
自分の教養を高める学習活動	550人	7.95%
児童の登下校時の見守り活動	426人	6.16%
地域の防犯活動	180人	2.60%
その他	97人	1.40%

◆質問 16　都合の良い活動時間帯は

・平日の昼間	3709 人	(77.90%)
・平日の夜間	140 人	(2.94%)
・土日の昼間	682 人	(14.32%)
・土日の夜間	76 人	(1.60%)
・その他	154 人	(3.24%)



趣味とスポーツが人気

【調査結果】

会員は平日の昼間を活用し、その時間帯で趣味やスポーツ、友愛活動に参加したいと思っている方が多い。

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

医療法人 大和正信会
救急告示病院 ふじおか病院
(24時間対応)
佐賀市大和町大字尼寺2685番地
TEL0952-62-2200
介護老人保健施設 しょうぶ苑
佐賀市大和町大字尼寺3227番地1
TEL0952-62-6511

内科・小児科・皮膚科
医療法人
永田天寿堂医院
理事長 永田 宰　院長 永田 宰
佐賀市諸富町大字大堂73
☎47-2253 FAX47-2321

まえだ脳神経外科
眼科クリニック
脳神経外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	3時まで
14:00～18:00	○	○	★	休	○	休

休診日/日・祝日　★: 15:00~19:00　火・木は眼科休診
小城市三日月町長神田2173-2 TEL72-6101

そえじま歯科
院長 副島 洋人
佐賀市久保田町徳万888-1
☎68-4180

入居者募集中
高齢者が安心して生活できる
住まいを提供します。
サービス付高齢者向け住宅
医療法人 長晴会 きりん Apartment
佐賀市久保泉町上和泉 2232-1
お問い合わせ (0952) 98-3110

池田内科皮膚科医院
内科　池田秀夫
皮膚科　池田裕子
診療時間　AM 9:00~12:30
PM 2:00~ 6:00
木・土曜　9:00~ 1:00
休診日　日曜・祝日
佐賀市嘉瀬町扇町2383
TEL 23-0239

くすの木 耳鼻咽喉科クリニック
KUSUNOKI CLINIC
佐賀市鍋島3丁目6-24
TEL 0952-33-3387
みみ　みみはな

美川眼科医院
診療時間
平　日 9:00～12:30　14:30～18:00
土　曜 9:00～12:30
土曜日午後・日曜・祝祭日／休診
佐賀市松原4-3-21
☎0952-23-2789

【特集】老人クラブ会員アンケート

老人クラブ入会について

◆質問 17　老人クラブ入会のきっかけ

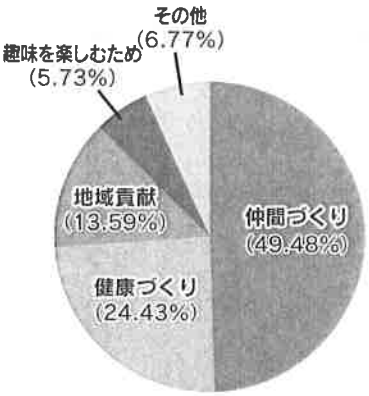
- 仲間づくりのため　2938 人（49.48%）
- 健康づくりのため　1451 人（24.43%）
- 地域に貢献するため 807 人（13.59%）
- 趣味を楽しむため　340 人（5.73%）
- その他　402 人（6.77%）

◆質問 18　情報が十分届いているか

- 十分届いている　2120 人（45.46%）
- おおむね届いている 1934 人（41.48%）
- あまり届いていない 491 人（10.53%）
- 届いていない　43 人（0.92%）
- その他　75 人（1.61%）

◆質問 19　老人クラブ入会の感想

- 期待以上であった　378 人（8.80%）
- 期待どおりであった　2468 人（57.54%）
- 期待したほどではなかった 1172 人（27.33%）
- まったく期待外れであった　46 人（1.07%）
- その他　225 人（5.25%）



老人クラブ入会動機

【調査結果】

入会者の約半分の方が仲間づくりを目的に入会しており、高齢者同士の支え合いの重要性が高まっている。しかし老人クラブに入会後「期待したほどではなかった」と回答した方が約 3 割あり、魅力的な事業を実施し、クラブをさらに活性化させる必要がある。

老人クラブの課題

◆質問 20　老人クラブの問題点

若手の人の入会が少ない	3244人	59.80%
活動がマンネリ化している	846人	15.59%
役員のなり手がいない	1142人	21.05%
会長がワンマンである	42人	0.78%
その他	151人	2.78%

【調査結果】

問題点としては、若手の入会が少なく、活動のマンネリ化があげられる。今後は若手会員を増やすための対策を考え、活動内容を見直す必要がある。また、役員の後継者育成にも日頃から取り組まなければいけない。

◆質問 21　老人クラブが重点的に取り組むべきこと

- 地域での会員同士の助け合い　2691 人（43.79%）
- 趣味を楽しむ活動　1179 人（19.19%）
- 軽スポーツ等の健康づくり活動 1334 人（21.71%）
- 清掃美化等の地域貢献　676 人（11.00%）
- 新たな活動　161 人（2.62%）
- その他　104 人（1.69%）

その他の意見

◆質問 24　「老人クラブ」の名称について

老人クラブの「老人」に抵抗がある人が多いことは事実であるが、行政用語での老人クラブと理解し、実際には「燦々クラブ」や「シニアクラブ」等自由に名称を活用している。しかし、今後は名称を変えるだけでなく、新たな事業の実施など活動内容を見直す必要がある。

◆質問 25　各世代の活動について

60 代～90 代の老人クラブの会員が一堂に会して活動するには体力の違いが大きく、難しい状況である。そのため老人クラブの運動部門を三つの階層に分類し、60 ～ 74 歳までを若手階層、75 ～ 84 歳までを熟年階層、85 歳以上を壮年階層とし、体力に応じた活動を行うことが必要ではないか。

一方、文化活動については、体力の差は生じないものとして、今後も全体での活動が可能と考える。

◆質問 26　要望事項

・佐賀市への要望

佐賀市に対しては、単位クラブへの補助金の使途について多くの制限があり、もっと簡単に清算ができるようにと要望がある。また、補助金の額についても現在の 30 人以上は 46560 円、30 人未満は 23280 円となっており、会員が 30 人の場合 1 人当たり、1552 円、会員が倍の 60 人の場合は 1 人当たり 776 円、会員が 100 人の場合は 465 円と会員数が多くなるごとに 1 人当たりの補助金は少なくなっているので、補助金の増額を希望している。

・佐賀市老人クラブ連合会、佐賀県老人クラブ連合会への要望

佐賀市老連や佐賀県老連への要望としては、単位クラブとのなじみが薄いので関係性を強めたいとの声があった。

老人クラブは、単位クラブ→校区（町村）老人クラブ連合会→佐賀市老人クラブ連合会→佐賀県老人クラブ連合会→全国老人クラブ連合会の階層に分かれている。会費等の負担金が佐賀県老人クラブ連合会まで生じることにより、各校区老連の財源が圧迫されるなど問題が発生している。

◆質問 22　役員を引き受けるか

- 引き受ける　820 人（18.21%）
- 引き受けない 1929 人（42.85%）
- 分からない　1473 人（32.72%）
- その他　280 人（6.22%）

【調査結果】

「役員を引き受けない」という回答が 42.85%あるが「引き受ける」という回答も 18.21%ある。役員を引き受けてもらうよう誠意をもってお願いするだけでなく、各クラブで後継者の育成に取り組む必要がある。

◆質問 23　若手会員入会促進の工夫

若手に対する積極的なPR	2194人	50.67%
役員の半数を若手の人にする	964人	22.26%
若手向けの活動を実施する	665人	15.36%
若手の独自の活動を展開する	248人	5.73%
その他	259人	5.98%

【調査結果】

今後も引き続き若手へ積極的にＰＲをし、老人クラブの若返りを図る必要がある。

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

医療法人　源勇会
川副町大字早津江265（早津江橋そば）
介護老人保健施設 メイプルハウス ☎45-8161(代)
外科・消化器外科 内科・乳腺外科 枝國医院 ☎45-1521

在宅療養支援診療所　入院・訪問診療対応
森永医院
（外来は日祝祭日・第三土曜休）☎98-1125
多機能型居宅介護　地域共生ステーション
グループホーム
みんなのいえ
（年中無休・24時間対応）☎98-0989

家族
★デイサービス
★ホームヘルプサービス
★有料老人ホーム
佐賀市久保田町大字徳万 2489-3
☎68-4415
有限会社　ライフアメニティ

社会福祉法人 さん愛
久保田サンハウス
佐賀市久保田町大字徳万 907-1
☎0952-51-3076

生まれてからの自分の半生を記録してみませんか
自分史つくります
まずは ☎092-292-6538 株式会社ニチコミまでお気軽にご相談ください。
格安で1冊からOK！
テーマ・形・ページ数…すべてのご希望におこたえします
お見積り無料

社会福祉法人　平成会
特別養護老人ホーム 南鷗荘
事業内容
南鷗荘 デイサービスセンター
南鷗荘 ホームヘルプサービス
南鷗荘 ショートステイサービス
南鷗荘 居宅介護支援事業所
佐賀市久保田町大字久富3459-2
TEL(0952)68-2136 FAX68-2137

【特集】老人クラブ全員アンケート

佐賀市老人クラブ連合会の現状と分析

佐賀大学 文化教育学部　上野景三教授

原点にかえり組織の在り方考える

上野景三教授

佐賀市老人クラブ連合会では、今後の組織の在り方を考えるために、平成26年の10～12月にかけて全市の老人クラブ会員の方にアンケート調査を実施されました。なるべく多くの会員の意見を取り入れたいということで、会員の半数の7285人の方を対象に実施されたものです。このアンケート結果から、会員の皆さんの意見を読み取ることができるのか、また組織の在り方についての期待や希望がどこにあるのかを一緒に考えてみたいと思います。

●市老連の現状から4つに整理

まず、現在の佐賀市老人クラブ連合会の現状をみてみましょう。各校区を高齢化率（25％以上）と組織率（25％以上）とを関連させて場合分けをしてみました。すると次の4つのパターンに整理されました。

図1

②高齢化率は低く組織率は高い ↓ クラブの認知度が高い	①高齢化率が高く組織率も高い ↓ クラブは期待されている
③高齢化率は低く組織率も低い ↓ クラブの必要性がない？	④高齢化率は高いが組織率は低い ↓ クラブ以外に関心

図1の①「高齢化率が高く組織率も高い」校区は、老人クラブが期待されていることが分かります。多くの高齢者が住んでおり、高齢者問題が校区の中で喫緊の課題となっています。しかも多数の方が老人クラブに参加しているということは、老人クラブが高齢者問題の解決のために、なんらかの役割を果たしてきた、もしくは果たすことが期待されている校区です。

図1の②「高齢化率は低く組織率は高い」校区は、高齢者問題は、まだ校区全体の課題とはなっていないものの、そこに住む高齢者の方は、老人クラブに入ることは当たり前のことだと認識されている校区です。つまり、校区の中で老人クラブの認知度が高く、一定の年齢がきたら、老人クラブに入ることは当然のことという共通認識が成り立っている校区です。

図1の③「高齢化率は低く組織率も低い」校区は、高齢者問題はまだ校区全体の問題とはなっておらず、おそらく校区全体としての関心も低く、老人クラブの必要性もあまり感じられていないという校区です。したがって、高齢者の方々も老人クラブに入会する必然性をあまり感じておられないのではないかと推測される校区です。

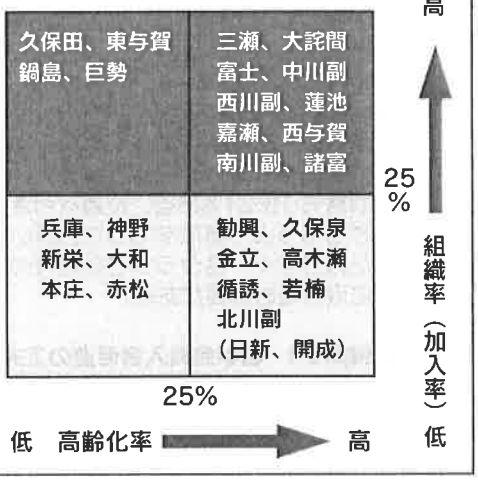
図1の④「高齢化率は高いが組織率は低い」校区は、高齢者問題が喫緊の課題となっているものの、老人クラブには入っていない校区です。この校区では、現状の老人クラブに対する期待が高くないことが推測されます。しかし高齢者問題は喫緊の課題となっていることから、おそらくこの校区に住んでいる高齢者の方々は、老人クラブ以外のところに自分の関心を向けたり、課題の解決を図ろうとしているのではないかと考えられます。

●校区別の特色

では次に、今の分類で校区をみてみましょう。次の図2を見て下さい。

校区別にみると、高齢化率と組織率の関係、また老人クラブに対する期待はどうでしょうか。類型にあてはめてみると、どういう課題が見えてくるのでしょうか。

図2 校区別の特色



高齢化率の問題は、直接的に老人クラブの課題ではありません。社会全体の課題であり、行政課題といえます。誰もが直面する課題であり、みんなで考えていかなければなりません。では組織率の問題は、組織・構成員の問題であり、どのように組織を維持していくことができるのかという課題です。

社会的課題に機能する組織に

社会的な課題と組織・構成員の課題とをかけあわせてみたのは、社会的な課題に対して、組織が有効に機能しているのかどうかを考えてみたかったからです。老人クラブは、行政からは独立した独自の組織です。したがって行政の社会下請け機関でもありません。独自の活動を組むことのできる自主的な団体です。

しかし、組織の課題を考えるときに、組織が社会的な課題、つまり高齢社会の問題にきちんと向き合っているのかどうか。つまり役に立つ組織であると会員をはじめ、社会の皆さんから思われているかどうかが大事なのです。会員のためだけの組織ではなく、社会の皆さんのための組織であってほしいと期待しています。

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

浄土真宗本願寺派
正教寺
～いのちを大切に～
〒840-0821 佐賀市東佐賀町 8-8
TEL 0952(24)2016 FAX 0952(24)2066

特殊建築物定期調査
武内建物調査事務所株式会社
建築士事務所登録（佐賀県第1718号）
佐賀市多布施1丁目3番11号
TEL:0952-25-9270 FAX:0952-25-9277
CAUTION 専門の調査士が建物の「健康診断」

これからも「本当のやさしさ」を追い求めます
保険調剤　医薬品・健康食品・化粧品販売
久神代薬局グループ
佐賀市本庄町袋286-5 サガンスクエアビル4F
TEL.0952-23-5440 FAX.0952-60-5820
グループ12店舗
嘉瀬店／木原店／枳小路店／黒川店
神野東店／セリオ牛津店／北部バイパス店
本庄店／水ヶ江店／松原店／大和店／若宮店

地域とともにくすり屋100年
溝上薬局
株式会社ミズ
佐賀市水ヶ江1-1-11 TEL0952-22-7974

浄土真宗 本願寺派
真乗寺
佐賀市西与賀町相応津41
☎0952(23)0892

住まいのリフォーム
行徳ホーム
佐賀市木原 3-15-1
TEL 0952-23-5080

保険調剤
のぞみ薬局
佐賀市開成1丁目4-4
☎0952-36-9220
FAX0952-36-9221

有限会社
大和健明堂薬局
佐賀市大和町大字久池井 2555-1
TEL 0952-62-5911

【特集】老人クラブ会員アンケート

●アンケートの結果より

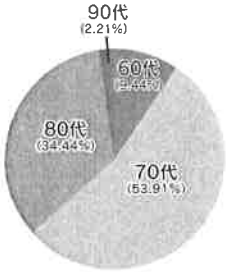
では、アンケートの分析に入ってみましょう。アンケートの結果から、いったい何が見えてくるのでしょうか。

アンケートは、会員の半分の方を対象にしました。実際の回答はそれよりも少なかったのですが、会員全体からすると、約3分の1の会員の方の意見を聞くことができました。アンケートとしては大成功です。

女性・若手の声の反映を

質問2の基本的属性をみると、老人クラブは、女性の会員が多い組織であることが分かります。だからといって女性優位であるかどうかは分かりませんが、女性の声を反映した組織になっているのかどうかは課題の一つです。

質問3の年齢別をみると、70～80歳代の会員が多いことが分かります。このことから、この年代の声が反映しやすい組織であることが分かります。若手が入会しないという声がある一方で、60歳代の会員の声は反映しにくい組織となっています。平均寿命が延びていますので、親子ともに老人クラブ会員という話も、あながち冗談ではないのです。すると、どうしても60歳代の意見は取り入れにくくなります。



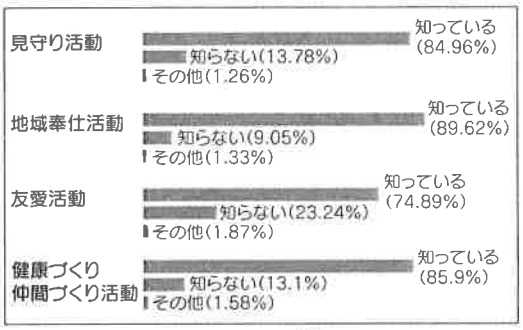
会員調査（年齢別）

質問4の高齢者が果たすべき役割をみると、「自分の健康維持」が45・15%となっており、高齢者の責任としてまず自分に関心がむいていることが分かります。その次に周りの高齢者に関心がむいています。

自分の健康維持	4022人	45.15%
高齢者同士の見守り・支え合い	2478人	27.81%
自分の経験で地域に貢献する	1268人	14.23%
文化や歴史を後世に引き継ぐ	606人	6.80%
仕事を継続する	390人	4.38%
分からない	105人	1.18%
その他	40人	0.45%

質問5の身体が不自由になったとき必要と思う支援についての回答をみると、行政や家族からの支援を求める声が多く、地域や老人クラブに支援を求める声は多くはないようです。

質問6から9までは、老人クラブの活動に対する認知度を聞いています。老人クラブの活動内容について知られているのは、まず地域奉仕活動です。次に健康・仲間づくり活動、児童の見守り活動、友愛活動の順となっています。



活動内容認知度調査

質問の10～12は老人クラブに対するイメージとその理由です。老人クラブに対する良いイメージは、仲間づくりと交流、健康維持に役立っているところです。悪いイメージは、人間関係のわずらわしさ、老人という言葉、いろいろな負担感というところです。

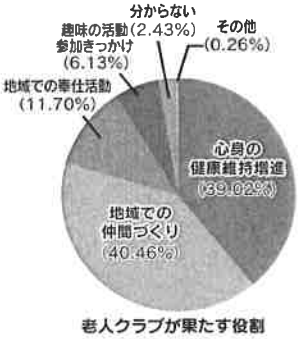
良いイメージ

仲間ができて、交流が増える	3324人	48.21%
健康づくりに役立つ	1701人	24.67%
生きがいづくりをしている	986人	14.30%
地域に貢献している	784人	11.37%
その他	100人	1.45%

悪いイメージ

人間関係がわずらわしそう	766人	18.64%
老人という言葉に抵抗がある	1422人	34.60%
閉鎖的な感じがする	236人	5.74%
参加したい活動がなさそう	276人	6.72%
奉仕活動が負担になりそう	726人	17.66%
行事や作業が多そう	520人	12.65%
その他	164人	3.99%

質問14は老人クラブの果たすべき役割についてですが、やはり自分自身の心身の健康維持増進、仲間づくり、地域奉仕活動があげられています。したがって質問15のやりたい活動も果たすべき役割と共通してきます。

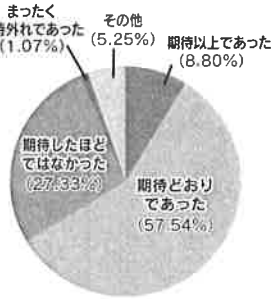


老人クラブが果たす役割

質問16から18は老人クラブの運営の方法についてです。会員の多くは、平日の昼間の時間帯に仲間づくりや健康維持活動、地域奉仕活動をしたいと入会されていることが分かります。活動の情報も届いているとの声が多いようです。

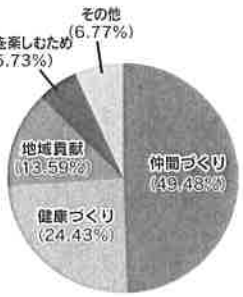
地域での会員同士の助け合い	2691人	43.79%
趣味を楽しむ活動	1179人	19.19%
軽スポーツ等の健康づくり活動	1334人	21.71%
清掃美化等の地域貢献	676人	11.00%
新たな活動	161人	2.62%
その他	104人	1.69%

質問19は入会後の感想を聞いています。入会してよかったとの声が多数なのですが、約4分の1の会員は期待外れであったという声にも、耳を傾ける必要があるでしょう。



入会後の感想

質問20以降は、老人クラブの問題点や課題について聞いているものです。どこの組織でもそうですが、新規に入会する会員が少ない、役員のなり手がいない、もっと積極的なPRが必要といった事項があげられています。その一方で、会員同士の助け合いや、趣味・軽スポーツ活動の促進、地域奉仕活動に積極的に取り組んでほしいとの声があがっています。



老人クラブ入会動機

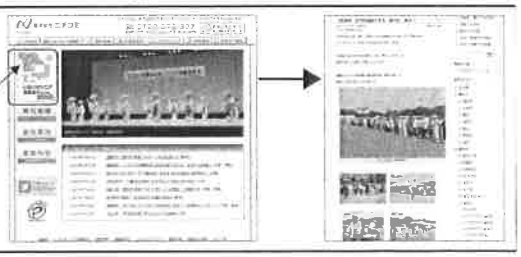
私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

ダイレックス
佐賀県 20店舗　沖縄県 8店舗　高知県 2店舗
福岡県 37店舗　岡山県 6店舗　兵庫県 2店舗
長崎県 23店舗　山口県 7店舗　埼玉県 2店舗
熊本県 27店舗　広島県 9店舗　山梨県 1店舗
大分県 16店舗　徳島県 10店舗　長野県 1店舗
宮崎県 17店舗　愛媛県 5店舗　新潟県 1店舗
鹿児島県 14店舗　香川県 9店舗　計 217店舗
より良い商品をいつでも安くご提供いたします

ISO9001 ISO14001 認証取得
建築工事一式・土木工事一式 設計・施工
株式会社 中野建設
代表取締役社長 中野 武志
本社 〒840-8588 佐賀市水ヶ江二丁目11番23号
☎(0952)24-3211 http://www.nakanet.co.jp/

有限会社常盤建設
取締役 常盤 秀幸
佐賀市富士町大字松瀬 2618-55
☎0952-51-0133

暮らしにうるおいと安心を
福祉用具のレンタル
販売・住宅改修は
おまかせ下さい!!
お気軽にご相談下さい
介護用品専門店 ケアサポート九州
TEL 0952-34-4453
〒840-0804 佐賀市神野東 4-12-29

全国の老人クラブの活動をチェック!!
まずは ニチコミ 検索
「佐賀市老連だより」の発行のお手伝いをしております株式会社ニチコミのホームページでは、全国の老人クラブの様々な活動を紹介しております。
ブログで老人クラブの活動を紹介しています
ここをクリック！


【特集】老人クラブ会員アンケート

自由記述にみる会員の意見

自由記述にもたくさんの声が寄せられています。ここでは大きな傾向についてみてみましょう。大体の意見をまとめてみると、①老人クラブの名称に関すること、②新規会員勧誘のための参加促進方法、③組織運営に対する意見の3つです。

老人クラブの名称について

まず①の老人クラブの名称問題ですが、これは意見が分かれます。「老人」というイメージがよくない、抵抗がある、シニアやシルバーではどうか、という意見です。それに対して、そのままでよい、「老人」という言葉に誇りを持とう、すでに親しまれているので問題はない、といった意見があります。この問題は、大きく2つの問題をはらんでいます。一つは、なぜ老人クラブというのかといえば、国の各種の調査では老齢人口というような定義がなされていて、老人福祉や老人介護といった「老人」という呼称が定着しており、全国組織も全国老人クラブと名乗っています。ですから、なかなか変えようがないという面があります。

もう一つの問題は、実態として若い「老人」も存在しており、「老人」という言葉が入会の支障になっているとしたら変えるべきではないかという側面もあります。この問題は佐賀県だけでなんとかなるという問題ではありませんので、組織として継続して議論する必要があるでしょう。

新会員の加入促進

②の参加促進方法についてです。輪を広げてほしい、楽しい活動を組み立ててほしい、PRのやり方を考えてほしい、といった老人クラブの活動に対する声があげられています。この問題は、組織に対する期待の表れと考えていいでしょう。

でも一方で役員のなり手がないという声もあります。そうであれば、役員研修の在り方や内容を工夫する必要があるのではないかと思います。役員はどういう役割を果たしたらいいのか、どうしたら楽しい活動を組むことができるのか、役員になることによってどのように自分の人生が充実したのか、といった経験交流や役員としての充実といった観点から研修を組むことはできないものでしょうか。

組織運営について

最後の③は、組織運営への意見です。まとめてみると、組織運営上の問題、活動内容の問題、誰がするのかといった担い手の問題、活動場所の問題、予算上の問題、といった具合に整理することができます。

これら会員の意見をそのままにするのではなく、せっかくとったアンケートですから、整理して一つひとつ対応策を考えてみたらどうでしょうか。

「高齢者問題の解決へ」老人クラブの重要性を会員が知ろう

今後の課題

最後に、組織の実態とアンケートの結果から、今後にむけて考えるべき課題について提示しておきましょう。

1 私(高齢者)と高齢期の向き合い方について

平均寿命が延びた、まだまだ自分は若い、働かなければならない、といった意見があります。かつて、60歳を過ぎたら誰もが「老人」とみなされ、老人クラブに入会するのは当然のことという時代があったかと思います。しかし、実際には平均寿命が延びている、再任用されている、といった実態があります。つまり、高齢期といった考え方に幅が出てきています。このことは、一人ひとりの人間の中に高齢期に入ったという自覚と受容を生み出しにくくなっているのではないかと思います。高齢期に入れば、誰もがリタイアし、いろいろな関係性を失ってきます。だからこそ、高齢期に入るために心身ともに準備をしていかなければならない。その時に老人クラブは一定の役割を果たさなければならないのではないかと思います。

2 私(高齢者)と社会との接点・つながりをつくる

前述したことと関係しますが、社会との接点を失いつつあることと、つながりを作ろうとする意欲は表裏一体です。この点を踏まえて活動を組み立てていってほしいものです。

3 高齢者と高齢者の関係性づくり

健康づくりや趣味の活動は、一人でするよりも仲間とやった方が楽しいに決まっています。ですが、仲間づくりへの関心は高いものの、その一方では抵抗感もあります。その抵抗感というハードルを低くさせ、活動に参加してもらう一歩を踏み出すことのできるような必要性やイベントを組むことを考えてみたらどうでしょうか。

4 高齢者と組織(老人クラブ)の関係

誰しも、組織運営に最初から積極的に関わっていこうとする人は少数です。経験のある方はいいのですが、みんなが全員そうだとはいえません。だとしたら、会員の皆さんの多くが、老人クラブという組織が必要だと感じることのできる運営方法を考える必要があります。どういう組織でも、負担はあります。ですが、少しの負担によって大きな楽しみが生み出されるという組織にしていく必要があるでしょう。

5 組織(老人クラブ)と社会との関係について

冒頭でも述べたように、老人クラブという組織は、今日の大きな社会問題である高齢者問題の解決にむけて影響力を発揮することのできる組織です。組織としての情報発信や情報収集、PR活動を行うということは、高齢者問題の解決にむけた取り組みでもあります。その点を会員全体で共有し、社会づくりへむけた提言を行ってほしいと期待します。

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

記念品・オリジナルグッズ制作いたします

・グッズを配って活動をPR
・創立記念の年に記念品を作る
・グッズを使って会員増強活動

老人クラブ会員特別価格あり!

チラシ　クラブの新聞　名刺　ポスター

などの制作いたします。
お気軽にご相談ください。
格安で印刷承ります!!

◆小部数でもOK
◆お見積無料

株式会社 ニチコミ TEL(092)292-6538

平成27年度 佐賀市老連 活動報告

交通安全指導員研修会

2月3日（火）、メートプラザにて交通安全指導員研修会が行われ211人の指導員が参加した。研修会では被害者支援ネットワーク佐賀の古川誠氏より「交通事故で娘を亡くして」と題した講話をはじめ、佐賀警察署より交通安全講話や還付金詐欺被害防止の寸劇をしていただいた。

女性リーダー研修会

2月18日（水）、ほほえみ館において女性リーダー研修会が開催され、27校区老連より女性部員81人が参加した。事例発表では新栄、大和町、本庄、中川副、西与賀、東与賀、兵庫の計7つの校区老連より活動状況について発表があった。

平成27年度 佐賀市老連総会

5月14日（木）、佐賀市文化会館にて平成27年度総会が開催され632人が参加した。

議事では事務局より、平成26年度の事業報告並びに収支報告、監査報告があり、平成27年度の事業計画および予算計画について審議され、満場一致で承認、可決された。

友愛活動ボランティア ヘルパー研修会

5月26日（火）、メートプラザにおいて友愛活動ボランティアヘルパー研修会が実施された。今年度のボランティアヘルパー登録者は469人（男性68人・女性401人）で、うち276人が研修会に参加した。当日は市老連事務局より友愛ボランティアの活動内容についての説明や、大塚製薬より熱中症対策について、佐賀中部広域連合より介護保険制度の改正内容等について説明があった。

平成27年度 理事研修会

平成27年度理事研修会が6月22日（月）、23日（火）に福岡県うきは市の筑後川温泉にて行われた。

研修会では、平成26年度の佐賀市老連会員増強運動についての結果報告があり、あわせて目標を達成した校区の事例発表があった。今後の課題や対策について熱心な討議がなされた。

新任単位クラブ会長研修会

7月30日（木）、ほほえみ館にて、新任単位クラブ会長研修会が行われ93人が出席した。

事例発表では、佐賀市老連の木下会長より単位クラブの会長、校区老連の会長、佐賀市老連の会長、佐賀県老連の会長、九州ブロック老連副会長としての肩書の中でも単位クラブの会長としての活動が一番大事であると発表があった。

また兵庫校区老連の土井団地の単位クラブの会長である的野勝氏より、平成26年度の会員増強運動での取り組みとして、民生委員の協力により会員9人の増員ができたことが報告された。

前期／後期　囲碁・将棋大会

1月23日（金）、6月9日（火）、ほほえみ館3階教養講座室において、毎年恒例の囲碁・将棋大会が開催された。例年各パートごとに実施していたが、今回よりスイス方式による4回戦の対局に変更し熱戦が展開された。大会結果は下記の通り。

【後期大会結果】1月23日

囲碁の部

優勝	野口 修二	（本庄）	1級
準優勝	嘉村 茂	（三瀬村）	初段
第3位	藤田 俊秀	（北川副）	1級
第4位	白濱 隆夫	（久保田）	二段
第5位	田中 耕祚	（久保泉）	1級
第6位	藤原 千房	（金立）	四段
第7位	坂井 種登	（神野）	4級
第8位	山下 芳朗	（兵庫）	二段
第9位	日高 昌彦	（兵庫）	初段
第10位	林田 春男	（神野）	二段

将棋の部

優勝	中村 弘	（久保田）	初段
準優勝	徳富 平征	（中川副）	1級
第3位	田中 勝	（兵庫）	6級

【前期大会結果】6月9日

囲碁の部

優勝	野口 義也	（兵庫）	八段
準優勝	宮崎祥二郎	（勧興）	三段
第3位	野口 實	（兵庫）	二段
第4位	園田 茂博	（本庄）	1級
第5位	田中 耕祚	（久保泉）	1級
第6位	藤原 千房	（金立）	四段
第7位	野副 善二	（大和）	四段
第8位	山下 芳朗	（兵庫）	二段
第9位	林田 春男	（神野）	二段
第10位	田中 武夫	（兵庫）	二段

将棋の部

優勝	中村 弘	（久保田）	初段
準優勝	徳富 平征	（中川副）	3級
第4位	渡瀬 義久	（諸富）	6級
第5位	中村 敏雄	（久保田）	8級
第6位	江頭 豊	（諸富）	5級
		（諸富）	2級

表彰関係　おめでとうございます！

全国老人クラブ連合会
「100万人会員増強運動特別賞」
久保田町老連　福栄クラブ（山崎清男会長）

全国老人クラブ連合会
活動賞「仲間づくり部門」
新栄校区老連　九十九（つくも）の会（青木昭生会長）

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

俳句集　短歌集　で作品を残しませんか？

～四季を通じて詠まれた歌を1冊の作品集にします～

【少部数から承ります】製作費用 50,000円～（要相談）

老人クラブ会員 特別価格あり

お見積り無料

その他、印刷物のことなら何でもご相談下さい

株式会社 ニチコミ　TEL092-292-6538

校区活動紹介

手作りのひな人形 圧巻の2000点
大詫間校区老連

地域の主婦らが手作りしたひな人形2千点を展示する「第7回大詫間おひなさまかざり」が1月23日（金）～25日（日）、佐賀市川副町の大詫間公民館で開かれた。飲料の空き容器やラップの芯にちりめんの着物をまとわせた、愛らしい人形を並べた。

大詫間を中心に、佐賀市内のほか小城市や福岡県筑後市などの女性も参加する「大詫間趣味の会」が開いた。作品には身の回りの廃材を活用。頭部は発泡スチロール、胴体には飲料空き容器やラップの芯を使い、赤や紫、緑など色とりどりのちりめんを着せた。高齢者の会員もいるため、針が使えなくても作ることができるように接着剤を使っている。

展示では、大皿にペットボトルのふたで作った小さなひな人形をたくさん乗せ、家族や地域のつながりを表現。天井からつるしたバルーンの模型にひな人形を乗せ、佐賀らしさも演出した。

会場には地元の小学生や園児が作った人形50点も並んだ。

手づくりのひな人形2000点がズラリと並ぶ

大詫間趣味の会の下村律子代表は「見る人が、作品から元気を受け取ってほしくて、製作活動を続けている」と話す。

えひめあやめまつり 紫の花 愛らしく
久保泉校区老連

国の天然記念物エヒメアヤメが自生する久保泉町帯隈山で「第21回えひめあやめまつり」が4月5日（日）まで開催された。

エヒメアヤメは草丈15～20㌢程度のアヤメ科多年草。中国、四国、北部九州で自生し、帯隈山山麓では約200株が咲く。

エヒメアヤメ守り育て

自生地では老人クラブ会員を含む「えひめあやめ自生南限地帯自然環境保全会」が中心となり地元住民で夏の草刈りをはじめとした保全活動に取り組んでいる。

また、今年も恒例の久保泉小学校4年生とのエヒメアヤメの苗植えが6月16日（火）に自生地で行われた。参加した児童23人は保全会の指導を受けながら、苗70株を植えた。

地元の貴重な花を通して地域との交流の場ともなっている。肌で環境の大切さを感じ、改めて考える場となっている。

おばあちゃんの発表会
諸富町老連

2月27日（金）諸富文化体育館ハートフルにおいて、第18回おばあちゃんの発表会が開催され、諸富町老連会員約800人が参加した。

会場の隅には会員が丹精込めて作った作品を展示。手芸、書、工芸等どれも見事な作品が並んだ。

ステージでは、諸富町のなかよし保育園の園児によるかわいらしい歌の披露もあり、18の各単位クラブより踊りやリズムダンス、歌、フラダンス等が披露された。

あそぼう・たのしもう・つくろう
南川副老連

5月30日（土）、南川副公民館において児童館春まつり「あそぼう・たのしもう・つくろう」に南川副老人クラブ連合会が参加した。

男性は水鉄砲やこま回し、女性は地区の幼児や小学生たちと万華鏡づくりに挑戦。即席先生になり完成した時は皆で喜び合い、楽しい時間を過ごした。

また6月6日（土）にはふれあい自然体験を行った。当日は老人クラブ会員が先生になり、参加した子どもたち、父兄らと一緒に暑い中、一生懸命にサツマイモの苗を植えた。大きく育ったサツマイモを秋に収穫するのが待ち遠しい。

サツマイモの苗植え

こま回し

高齢化の団地　手作りひな人形で絆
大和町老連

大和町久池井の「みどり団地公民館」で、住民手作りのひな人形が飾られている。高齢化が進む団地のふれあいの場にと、地域の主婦グループが立ち上げたサロンでこつこつと作り上げてきた数百体の人形が愛らしく並んでいる。

みどり団地は1974年に造成され、現在210世帯あり、家を構えてから40年を過ぎて高齢化が進み、一人暮らしの住民が年々増えている。そんな中、気の合う主婦6人が2年前にサロンを開設。社会福祉協議会の支援を受けて手芸教室や講座を月1回開き、高齢者や一人暮らしの住民約30人が交流を続けている。

勧興小児童60人お茶の入れ方学ぶ
勧興校区老連

2月20日（金）、地域の高齢者と交流しながらお茶について学ぶ教室が勧興公民館で開かれた。当日は勧興小3年の児童約60人が参加し、煎茶の正しい入れ方やマナーについての理解を深めた。

今回は総合学習の一環で、NPO法人活気会のメンバーが急須や茶たくなど使用する器具を紹介。「急須を持つときは右手でしっかり持って」「急須から出る最後の一滴がおいしい」などとアドバイスがあった。

児童はこの後、実際に湯呑みにお茶をそそいで実践。お茶菓子と一緒に嬉野茶を味わいながら、集まった地域の高齢者たちと和やかに談笑した。茶葉をポン酢であえる食べ方なども紹介され、お茶本来の味わいを楽しんだ。

豪雨対策など学ぶ
西与賀校区老連

2月1日（日）西与賀公民館で「自主防災組織」結成に向け勉強会を重ねる、ふるさと安心安全部会が「西与賀ぼうさいの学び」を開催し、老人クラブ会員を含め68人が参加した。

当日は平成24年7月の九州北部豪雨災害の対策に当たった柳川市消防本部より「豪雨災害への対応と防災」と題して講演があった。西与賀校区は有明海に面し、干拓地で水路が多く地形が良く似ており、同じような災害が発生する可能性がある。佐賀市の消防防災課の指導のもと、災害を想定しての話し合いがなされ、活発な意見の交換が行われた。今回出た意見は今後の自主防災組織の結成、防災マップの作成などに反映し取り組んでいく。

事故、犯罪から子どもを守ろう
西与賀校区老連

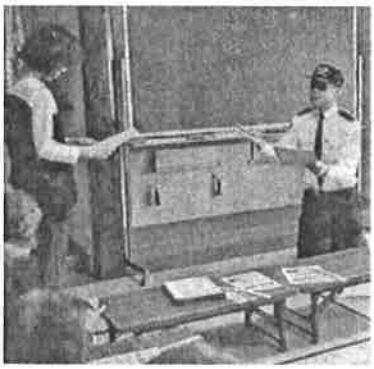
西与賀校区老連（江口衛会長）では5月20日（水）、「シルバーパトロール隊」の出発式があり、メンバー約30人が交通事故や犯罪のないまちづくりを誓い、下校時の子どもたちを見守った。

出発式では、西与賀小学校の今泉弘校長が「校区が広いので隊員の活動が子どもたちの事故防止につながっている」と感謝の言葉を述べた。佐賀警察署西与賀駐在所の佐々木誠次警部補は、佐賀署管内で昨年101人の小学生が交通事故でけがを負ったことや、不審者による声かけ事案が午後3時～6時の間に多発していることを説明し「今後も皆さんが目を光らせ、犯罪を撃退してください」と激励した。

シルバーパトロール隊は2010年に発足し、毎週水曜日、西与賀小の下校時間に合わせて活動している。

詐欺被害防止、夫婦で寸劇
西与賀校区老連

3月15日（日）、今津下公民館で今津下老人クラブ（糸山和宏会長以下36人）の会合があり、西与賀駐在所の佐々木誠次警部補夫妻がユーモアを交えた詐欺被害防止の寸劇を披露した。劇を通して詐欺の手口やすぐに振り込まずに警察に相談するなど対策法を教えてもらった。


熱演する佐々木警部補夫妻

※寸劇を交えての啓発事業は佐賀南部郵便局長で組織する団体も行っているのでぜひご利用下さい。

詐欺の手口、寸劇で学ぶ

7月2日（木）、平松南公民館で平松南長生クラブ（直塚政治郎会長）の会員28人が還付金詐欺への注意を呼びかける講話を受けた。寸劇では西与賀駐在所の佐々木警部補と妻のひろみさんが巧みな話術で現金をだまし取る手口を実演した。

校区活動紹介

地区の名所 今年も色鮮やかに

大和町老連

大和町今山地区の花畑に今年も見事にチューリップの花が咲いた。

福寿会（永渕正厚会長47人）のメンバーが丹精込めて育てた赤や白、黄色など8種類、約2万5千本のチューリップの花が咲き、訪れる人たちを楽しませた。

老人クラブでは、見頃を過ぎたら、花を摘み取り、球根を掘り上げて保管し、秋には球根を植栽し、草取りや水やり等を行っている。

来春はぜひ一度、花畑を観に来て欲しい。

移植の桜の下、笑顔も満開

兵庫校区老連

3月27日（金）から、兵庫北のゆめタウン東側にある桜の木25本のライトアップが行われた。この桜は土地区画整理事業に伴い移植されたものである。

兵庫のまちづくりを進める主催団体のNPO法人「夢の里兵庫」は「樹齢が40年以上の並木で、枝振りも味わいがある」と話した。期間中、地元住民らは明かりに照らし出された夜桜の下で、宴を満喫していた。

地域のまつりで18㍍の巻きずし

嘉瀬校区老連

嘉瀬校区の住民（老人クラブも参加）が一体となってイベントを企画運営する『ふるさと嘉瀬感謝まつり』が1月18日（日）、嘉瀬小学校で開かれた。体育館では6年生約40人が中心となり、地元産の米やのりを使った長さ18㍍のロング巻きずしづくりに挑戦した。

体育館ではほかに、子どもたちや公民館のサークルが踊りや音楽を舞台で発表。模擬店では野菜などの特産品を販売したほか、イノシシ鍋やぜんざいも振る舞い、多くの来場者でにぎわっていた。

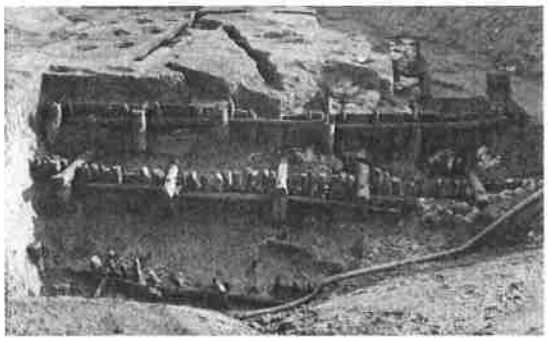
私たちの老人クラブ

人生の歓喜と趣味 感動する心を失いたくない

高木瀬校区老連
副会長
倉持　末男

7月6日（月）、この日、二つの大きな感動を呼ぶ快挙があった。一つは佐賀市の三重津海軍所跡など8県23施設からなる「明治日本の産業革命遺産、製鉄・製鋼・造船・石炭産業」の世界文化遺産登録をユネスコ世界遺産委員会が決定した。佐賀県初の世界遺産であり、うれしさと誇らしさで胸が高鳴った。

老人クラブとは何の関わりが？と思う人もあろうが、十分感動する心をかき立てる出来事であり、地域の歴史の再発見であり、佐賀市民すべての誇りでもある。早速、三重津海軍所跡へ出向いて当時の様子を疑似体験できる専用ゴーグルを着用し、感動を実体験した。昨年度の長生会親睦見学コースで訪ねた三池炭鉱の万田抗も加わり、感動を共有した。



もう一つの感動体験は、女子サッカーW杯準優勝の快挙である。「負けたけど、全力出した汗を褒め」あのなでしこジャパン女子サッカーチームには、佐賀市高木瀬町出身の有吉佐織選手がいる。早速、高木瀬公民館に応援席を設け、長生会の会員もサポーターの一員となり実況放送を観ながら熱い声援を送った。優勝こそ逃したが、「世界第二位」十分見事な快挙ではないか。とにかく身近な話題に自ら関わり合いながら自分でできることを通して社会参加していく心のありようを大切にして生きていきたい。

有吉佐織選手

友愛活動もやっと地についてきた。長生会では一人暮らしのすべての会員に友愛活動奉仕員を割り当て、週一回以上は訪問活動を続けている。最初の頃はなんとなく気まずいこともあったが、今では友愛訪問することを楽しみに待って下さっている方も多い。佐賀県民歌「栄の国から」に「心ふれあう愛の郷」という歌詞がある。ここに私たちの友愛活動の願いがある。「親切は手ではすくえぬ優しさで見えぬものこそ心を誘ふ」サンテグジュペリーの「星の王子さま」を思い出した。会員の心の絆を大切にしたい。

今年も9月28日（月）に市老連のクラブ大会がある。例年のように会員に呼びかけて7月から毎週一回、公民館で踊りの練習を行っている。「民舞むつごろう音頭」を選び40人を超える会員で群舞を発表することにした。この練習を通して会員が親しみ合う楽しみや、仲間の輪が広がっていく喜び、これこそが長生会の活動が狙う稔（みの）りであり、信頼と思いやりの心の広がりであると思う。この踊りは、米寿祝いや町区の文化祭や地区の老人ホーム晴寿園との交歓会などあらゆる場面で披露し、地域の絆を深めるために活用している。

地区公民館だよりは毎月発行し、全戸に配布されている。その一隅に、「長生会だより」を掲載してもらっている。ありがたいことである。毎回、文化行事、体育行事、親睦旅行…など、あらゆる機会をとらえて広報活動を行い、私たちの活動が地域に浸透していくように願っている。「いつのまに、卒寿となりし心天（ところてん）」いくつになっても感動の心を失いたくないものだ。

私たちの老人クラブ

小学一年生との楽しい交流について

東与賀町老連
会　長
諸隈　政美

東与賀町は佐賀市の南部に位置し、有明海の干潟で有名な所です。5月29日（金）にその東与賀の干潟がラムサール条約に登録されました。干潟に渡り鳥の越冬中継地としていろいろな鳥が飛来しまた、干潟で生育するムツゴロウ、ワラスボ、シオマネキなどの生物、秋には可憐な花が咲くシチメンソウなど佐賀市の観光地として市内はもとより、県内外や最近では外国からの観光客も訪れる観光地となっています。

そういった中で、我々仲間である老人クラブの会員約780人は「元気で楽しくみんなの交流を深め、毎日を楽しく過ごしましょう」を合言葉にいろいろな行事を行っていますが、今回はその一つ「小学校一年生との交流」について紹介します。

私たち老人クラブ会員のメンバーは約30人が中心となります。小学生の子どもたちは、その年の新一年生約100人位です。

まず野菜作りは、5月に夏野菜、9月には冬の野菜の苗を植えたり、種をまいたりします。菜園作りは私たち会員で行います。草を取り、石灰をまき、学校給食の素材でできた有機肥料を使い、整地をしてできた菜園に子どもたちと一緒になって夏はトマト、ピーマン、ナス等を、冬は大根、白菜等を作ります。

できた野菜を子どもたちと一緒に収穫をして皆で試食をして、その後、いろいろなお話をして楽しんでいます。

また1月には昔遊びをします。グループに分かれて、竹馬、コマ回し、竹トンボ作り、羽根つき、カルタ、おはじき、お手玉、けん玉等で約2時間を楽しく過ごします。子どもたちからは、もっとやりたいと言う声が聞かれます。このような交流で子どもたちから、ありがとうの便りを頂いていますので紹介します。

小学一年生　A子ちゃん

名人のおじいちゃん、こんにちは、みんなでそだてた白さいをスープにしてたべました。とてもおいしかったです。また、そだてかたをおしえてください。ありがとうございました。

小学一年生　B子ちゃん

名人さんのもろくまさんは近じょの人で、いえもしっていて、いつもいけるけど、むかしあそびにきてくれてうれしかったです。けん玉がすごくむずかしかったけれど、やさしくゆってくれたし、はねつきもまず、れんしゅうしてね。とやさしくいってくれたり、いろいろなことがしったからすごくうれしかったです。おしえてくれてありがとうございました。またおしえてほしいです。

以上、二人の子どものお礼の便りでした。このように東与賀老人クラブでは世代を越えた交流も多く行っています。次はどんな一年生と出会えるか今から楽しみです。

高齢者スポーツ大会町内全体の大会へ変身

蓮池校区老連
会　長
副島　昌治

平成23年に発生した東日本大震災の災害を参考にして、佐賀県でも県総合体育館の耐震補強のため、改築工事が実施されることになり、市老連で毎年開催されていたスポーツ大会が、各校区個別に実施するよう変更された。当初3校区（北川副・巨勢・蓮池）で合同開催の話も出て審議されたが、結局、校区別での開催に決定した。

平成23年度以来、3年間、蓮池校区老人クラブスポーツ大会とし、会員のみで実施してきた。

しかし平成26年度からは、佐賀市からの助成金の交付は町内に居住する高齢者を対象としたものとなり、老人クラブ単独開催ではなく、町内全体の高齢者のスポーツ大会とするように要請をされた。

このため、蓮池校区老連では役員会を開き、対応を協議し、問題点の解決を図った。その結果、

①名称の変更
②会員外高齢者への参加勧誘
③大会運営不足金の調達をどうするのか
④専門知識を持つ人材の応援要請

以上4点について取り組むことにした。

①の名称変更については、蓮池校区老連スポーツ大会を蓮池校区高齢者スポーツ大会に変更した。

②の一般高齢者への周知および参加要請については、毎月発行されている公民館報を通して大会を周知し、参加呼びかけを行った。しかし、この効果が薄かったので、自治会に依頼し、回覧板にて高齢者への参加を呼びかけた。

③の大会運営資金調達については、佐賀市よりの交付金では従来不足しており、不足分を校区老連で補填し運営していたが、これが会員以外多数の高齢者の参加となると、運営資金不足となり、大会開催ができなくなるため、町連携協議会に助成金の交付を願いし交付の認可を得た。そして、町社会福祉協議会からも趣旨に賛同して頂き、助成金を交付してもらった。

④の運営専門人材の指導要請については、クラブ会員と一般高齢者の参加となれば、多数の参加者が予測され、現行の会員役員では競技運営ができないと思われるため、町の体育協会に依頼して指導と運営応援を依頼した。また、事務処理についても公民館の職員の方に応援を依頼した。

このようにして、平成26年度蓮池校区高齢者スポーツ大会を開催した。しかし、1回目の大会でもあり、会員外の一般参加者は20人位で予想より少なかったが、2回目、3回目と重ねるうちに一般の高齢者の参加を前記方法で呼びかけ続けることにより一般高齢者の参加も多くなってきている。

将来は少年期の学校運動会、そして青年・中年期の町民体育大会、高齢者スポーツ大会と蓮池町での三大大会となるように夢見て努力していきたい。

私たちの老人クラブ

三瀬村老連
会長
徳川　正臣

三瀬ッ子と芝さくらと老人クラブ

私ども三瀬村老連では、年間を通じて子どもたちとのいろいろな「ふれあい」の事業があります。今回は、その中の一つ「芝さくらが取り持つ縁」についていろいろな思い出を込めながらお話をさせていただきます。

まず、芝さくらが子どもたちと初めてお目にかかったのは、平成13年10月6日（芝さくら元年と呼んでいる）のことです。これは、老人クラブで作った芝さくらの苗をどこに植えようかと迷っていた頃、まずは三瀬村の中心地でもある学校周辺からとの結論に達し、当時の小学校校長にお願いして、国道263号線沿いの土手や石垣の上に植えさせてもらうことにしました。その際、校長から「せっかく老人クラブで芝さくらを植えるんだったら子どもたちも一緒にやらせて下さい」というありがたい言葉をいただいて「子どもたちと芝さくらと老人クラブ」のふれあいが始まりました。

今考えてみると14年もの長い間、よく続いているものだと我ながら感心させられます。当初、夏の環境整備で芝さくらと知らないで雑草と間違えて草刈機で奇麗？に刈られてしまったり、その他にも草と思って先生が自ら抜いてしまったりもしましたが、一度やり始めたからには途中で止める訳にもいかないので花壇には防草シートを張ったり、たまには除草剤を使用させてもらったり、あの手この手で現在に至っています。

前述のようにいろいろな思わぬことがあったり、たまにはほほ笑ましいことがあったりしましたが、なんとか14年間の歴史？を感じるようになりました。10年が過ぎたころから、ある保険会社から助成金を頂戴したり、一昨年には佐賀市の景観賞を頂いたり。また、開花の頃にはテレビ・ラジオ・新聞等のマスコミに取り上げられ、少しは世間様に顔向けができるようになってまいりました。

今では、村内では「芝さくら」を知らない人はいないというほどまでに成長して、開花時期には花の滝ができたり、花のじゅうたんを醸し出すまでに成長しています。中でもうれしいことは、子どもたち自身が寒いときや暑いときに育ててくれた芝さくらの花びらをモチーフにして、佐賀市立小中一貫校三瀬校のシンボルマークとして採用されるまでに成長したことに敬意を表します。ここに至るまでには言うまでもなく、年間を通じて協力頂いている老人クラブの会員と学校側の皆さんのご理解とご協力があればこそと深く感謝しております。

さて、今年の3月12日（木）、卒業式を一週間後に控えた小学部の6年生と「芝さくらの植え替えとモグラ踏み」を老人クラブの会員と一緒になって実施した時のことです。当日は3月中旬とはいえ、脊振山からの風は冷たく、霜も降りて寒い朝でした。午前10時頃、担任の先生に引率された三瀬ッ子が全員長靴姿で現れ、中には半ズボンの子もいたり見るからに寒さを感じました。

よく見ると校長先生までお出ましで恐れ入りました。なにはともあれ、子どもたちの卒業記念になるのでは？と思い、植え方の簡単な説明とモグラ踏みの要領について詳しく指導して作業を実施しました。作業は1時間程度で無事終了して、最後に記念写真を撮りお礼を言うと、子どもたちは満足そうな笑顔で学校へと帰っていきました。

※モグラ踏みとは、芝さくら園ではミミズが発生してこれを狙ってモグラが無数の穴を開けるために芝さくらの上から人力で踏み固める作業のこと。

見守り活動と中学生のあいさつ運動

三瀬の老人クラブでは、県などの交通安全運動に合わせて通学時の三瀬ッ子たちの交通安全見守り活動を行っております。

皆さんたちの老人クラブでも実施されておられることと思いますが、三瀬の場合、小学部では各集落ごとに集団登校となっておりますので、そこの集落の上級生が先導し低学年から上級生へと一列縦隊で登校するようになっております。小学部と中学部の校門前と三瀬郵便局前の3カ所が見守り活動の現場です。

今年度の春の交通安全運動は5月でしたが、年度計画により去る4月15日（水）、交通安全指導員8名の他に本部役員7名の計15名で三方向から登校してくる子どもたち「金のタマゴ」を午前7時30分から待ち受けていると、各グループごとに一列縦隊の隊形でやってきます。私たちはまだ遠いからと思って様子を見ていると、誰かが号令でもかけたかのように一斉に大きな声を張り上げて「おはようございまーす」と言っていさつをしながら近づいてきます。何回もあいさつをしながら校門を通り抜けるとそれぞれの教室へと分かれていきます。この間、時間にしたら15分程度だったでしょうか？全校児童約80名がみんな元気で登校してくれたかなーと案じながらも、朝から三瀬ッ子たちから逆に元気をもらったような気分になり心地良かったです。

登校は以上のとおりですが、下校は村内巡回バスが運行しているので、家の近くで下車でき、山間地でも意外と便利に活用されてい

私たちの老人クラブ

大腿骨骨折で人工骨置換手術とリハビリを体験

神野校区老連
会　長
高口　泰彦

4月5日（日）、さが桜マラソンの先頭ランナーが間もなく多布施川河畔に到着する頃です。自転車で多布施川沿いの西側歩道を上流に向かいました。福寿会会員のボランティア活動中の写真を撮り、すぐ帰宅する予定でした。対岸の様子が気になり脇見をしていると、突然、自転車の前輪が歩道右側の防護柵に衝突しました。身体は自転車に乗ったまま、左に横転し、激しく地面に叩き付けられました。起き上がろうとしましたが身動きできません。しばらくして、通りがかりの人が携帯電話で救急車を呼んでくれました。病院（好生館）で検査の結果、左大腿骨の頚部が骨折しており、直ちに入院手術要との診断でした。頭を打たなかったことは不幸中の幸いでした。

「身元引受人となるご家族に連絡してください。手術で全身麻酔をしますので、同意書が必要です」「私は一人暮らしで近くに身寄りはいません。大阪府内に次男が住んでいますが、電話番号も分かりません」自宅地区の民生委員と自治会長宅を調べてもらい、連絡をお願いすると早速、病院に駆けつけて頂きました。当座の着がえ衣類および貴重品が入ったバッグと携帯電話を手元に届けてもらうことができました。大阪の次男にも連絡が取れ、骨折から4日後、大腿骨頚部の人工骨置換手術となりました。手術の翌日からリハビリが始まりました。リハビリテーションは、日常生活動作の能力向上を図り、家庭や仕事への復帰を目的とします。

佐賀記念病院のリハビリ病棟に転院し、腹筋を鍛え、左脚を深く折り曲げずに立ち上がる等の練習をしました。リハビリ開始から約1カ月で杖を用意して歩けるようになりましたが、人工関節部の違和感が気になり、身体の重心がどうしても右寄りになる傾向がありました。

その後、家族が見守るという条件で初めての一時帰宅が許されました。大阪から次男夫婦が来て、生活しやすいよう部屋の模様替え等をしてくれました。また、今のままでは入浴も困難なため、シャワー浴専用の腰掛椅子を購入しました。

屋内の歩行、階段の昇降、トイレやシャワー浴には支障がありませんでしたが一階は家具が多く、寝室、台所、食事の場所が別々の部屋になり、不便さを感じました。全てをバリアフリーにするには多額の改造費を要し、さらにはいつまで住み続けるか分かりません。常に危険予防を意識しながら、一人暮らしの生活に慣れるほかありません。主治医からは脱臼の恐れがあるので外出時の歩行は必ず杖を使用し絶対に転倒しないよう厳しく注意され、歩行以外の交通手段はタクシーか公共機関を利用するよう勧められました。退院後の計画については、ソーシャルワーカーに相談し、介護サービスを受けるための介護保険の認定への申請を行いました。

退院後、認定結果が「要支援1」であることを確認しました。「要支援1」の場合、週に1回、施設に通って利用する「デイサービス」と「デイケア」があります。デイサービスは食事・入浴等の基本サービスで、デイケアはリハビリ等の選択的サービスとなります。また、日常生活の支援として訪問介護（ホームヘルプ）を週2回利用できます。後日、担当のケアマネージャーが来宅し、リハビリの経過や主治医の意見書等を基本に相談しながらケアプランを作成しました。

その後、手続きを済ませ、7月から介護サービスの提供が受けられるようになりましたが、すべて満足するものではありません。要支援でホームヘルパーの訪問介護は週2回。1回1時間です。介護サービスの内容も限られています。専門のヘルパーさんも要員不足で、一人当たり6～8軒の訪問介護で移動する日もあるそうです。

今回、私が事故により体が不自由になってから、つくづく健康のありがたさを痛感しました。また、介護保険制度についても中身を知ることができました。

神野福寿会は各クラブ単位で自治会、民生委員と連携し、ボランティアヘルパー活動を進めてきました。また、平成27年度は各クラブの活動資金の一助となるよう本部への負担金の減額を実施しました。日頃から健康に努めることが第一ですが、日常生活で支援を要する高齢者に対しては元気な高齢者が支援する体制づくりが必要だと感じました。

最後になりましたが、入院中、大変お世話頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

ます。しかし、この10月1日からは巡回バスも有料になるとか…？できればこのままでと思うのは私だけでしょうか。

次の話題は、昭和60年頃から続いている三瀬中学部の全校生徒で行っている「朝のあいさつ運動」です。これは、約30年前にさかのぼります。当時の生徒会で校門前で「あいさつ運動」をやったらどうだろうかということから始まったそうです。私が調べた範囲では、はっきりした証拠は見当たらなかったのですが、当時、中学生だった方に聞いてみると、どうも定かではないが、当時は希望者だけで始めたそうです。しかし、今では全校生徒のほかに教職員の先生方まで国道263号線の左右に分かれて大きな横断幕を掲げて大きな声を張り上げ「おはようございます」とあいさつする姿はどこでも見られるものではありません。

佐賀方面へ、あるいは、福岡方面へと先を急ぐ運転手さんたちもなんとなく、いい気分ではないでしょうか？

朝早くから登校して剣道やその他の早朝部活を実施した後、汗を拭き、制服姿で道路脇に立つことは大変かもしれないけれども若い時、今だからこそできる修行と思います。道行くドライバーへの安全運転のメッセージであり、大きな願いでもあります。できればいつまでも継続して欲しいなと願う今日この頃です。

チームワークを発揮！ 西川副Aチーム 優勝！

平成27年度佐賀市老連ゲートボール大会 開催

西川副A・東与賀B・久保田Aの上位3チームの皆さん

選手宣誓を行う東与賀校区老連

6月12日（金）、佐賀市民運動広場において、27校区老連から33チーム約300人が集まり「いきいき元気ハツラツ佐賀市老人クラブ連合会ゲートボール大会」が開催されました。日頃の練習の成果を発揮した各チームは熱戦を展開。今大会見事に優勝を飾ったのは西川副Aチームでした。おめでとうございます。

上位6チームは10月9日（金）に開催される、佐賀県老連主催の大会に出場します。

大会結果

順　位	チーム名
優　勝	西川副A
準優勝	東与賀B
第3位	久保田A
第4位	諸富A
第5位	西川副B
第6位	三瀬B

あとがき

全老連と佐賀県老連が提唱する老人クラブ会員増強運動について、佐賀市老連としても強力に推奨してきましたが、結果として昨年度の会員数14409人から今年度13974人と435人の会員減少となりました。

新規加入者数797人、脱会者1232人（うち消滅7クラブ会員数272人、死亡や病気での脱退等960人）の減数となっています。

会員が増加した校区老連は27校区老連中10校区老連で、37％の校区老連は会員が増加しています。その中で3％の増加目標を達成している校区老連は2校区老連でした。

今年度は会員増加はもちろんのこと、単位クラブが消滅しないよう、校区老連および市老連が連携して会員増強の方法を探っていきたいと思います。

目標を達成した2つの校区老連の活動内容の報告を受け、活動の参考としていきたいと思っています。（事務局）

スポンサーへのお礼

このたびは「佐賀市老連だより」の発行にあたりまして広告の掲載をいただき誠にありがとうございました。

本紙は、会員が豊かで幸せな生活を送れるように願って発行いたしております。

これからも末永きご厚誼、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

佐賀市老人クラブ連合会

私たちは佐賀市老人クラブ連合会の活動を応援しています

オメガ アルファ ザール
草苑（SOU EN）
(株)平安閣エヌピーオー互助会
ホテル マリターレ 創世
北佐賀草苑　TEL 0952-30-4040
南佐賀草苑　TEL 0952-25-1255
大和草苑　TEL 0952-64-8448
神埼草苑　TEL 0952 53 2334
鳥栖草苑　TEL 0942-82-6430

スズキセニアカー
電気で動く!!　手軽に操作!!　歩道を通れます!!
ET4D 368,000円（本体価格）
ET4E 298,000円（本体価格）
※スズキセニアカーには消費税はかかりません。※詳しくは下記代理店スタッフまでお問い合わせください。
お問い合わせは、お近くのスズキのお店までご連絡ください。
(株)スズキ自販佐賀 ☎0952-24-3261

自分のペースでパソコンが学べます
はじめてでも安心　ゆっくりペースで
やさしく丁寧に　すきな時間を選べる
シニア・中高年に人気です
まずは無料体験受付中！
あしたばぱそこん教室
☎0952-37-8012 駅南本町 住友生命ビル1F
佐賀市内の公民館やデイサービスでも出張講座を実施しております。

佐賀市老人クラブ連合会指定店
株式会社 JAセレモニーさが
プレアホールさが　TEL 34－1222
プレアホールなべしま　TEL 97－8688
JAやすらぎ大和会館　TEL 64－9955
JAやすらぎ南部会館　TEL 34－9611
JAやすらぎ東与賀珠の里　TEL 34－7020

【プレアホールなべしま】

株式会社 マリトピア
互助会「暮らすメート」TEL 22-4777
リバース典礼殿
『東佐賀』東佐賀町 TEL 27-0078
『鍋島』鍋島町 TEL 36-6565
『鮮庵』八戸町 TEL 37-7117

株式会社 メモリード
メモリード佐嘉会館　TEL 33-0952
佐賀メモリードホール　TEL 26-0952
佐賀メモリードホール新館　TEL 27-8080
夢咲メモリードホール　TEL 31-0983
神埼メモリードホール　TEL 20-0983

「佐賀市 老連だより」この広報紙は、地域のスポンサー各位のご協力により発行されております